

## オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数が急増しています。 早期発見に努め、若齢幼虫のうちに防除しましょう。

### 現在の状況

- 1 基準圃場（北上市成田）に設置しているオオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数が、6月第1半旬に急増している（図1）。
- 2 特定圃場（軽米町山内）および現地のフェロモントラップへも誘殺が確認されている。
- 3 オオタバコガは広食性害虫であり、ナス科やキク科、アブラナ科など多くの作物を食害することから、今後トマトやキク等、多くの作物で被害が発生する可能性がある。

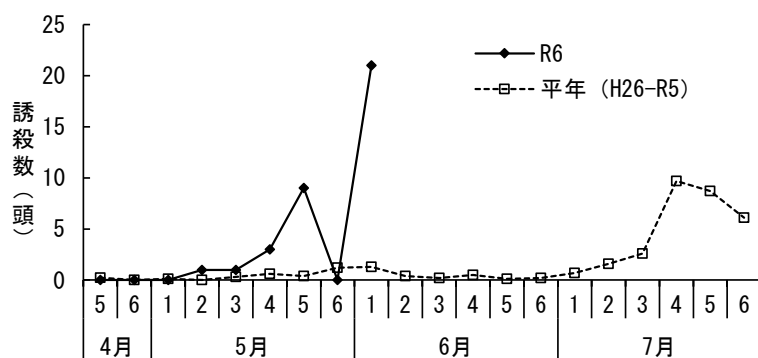


図1 基準圃場（北上市成田）におけるオオタバコガの誘殺状況



写真1 オオタバコガの幼虫

### 防除対策

- 1 オオタバコガの幼虫は、生長点付近の茎葉や果実、花蕾などを加害する（写真1）。その周辺を中心に観察し、被害の早期発見に努め、防除効果の高い若齢幼虫を対象に薬剤散布を行う。
- 2 レタスでは、オオタバコガの幼虫が結球内部に食入すると、その後の防除が困難になるので、結球期前の防除を徹底する。
- 3 薬剤を散布する際は、薬液が葉裏にも十分付着するよう丁寧に行う。
- 4 薬剤抵抗性の発達が懸念されるため、同一系統の薬剤は連用しない。
- 5 施設栽培では、開口部や出入口を防虫ネット（4mm以下）で被覆すると、成虫の侵入を防ぐことができる。

#### 【利用上の注意】

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL:0197(68)4427 FAX:0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/2003279/index.html>

